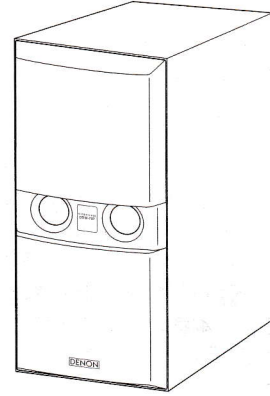


DENON

SUPER WOOFER

スーパー ウーハー

DSW-707 取扱説明書



安全にお使いいただくために一必ずお守りください。

- お買い上げいただき、ありがとうございます。
- ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- お読みになつた後は、後日お役に立つこともありますので、必ず保存してください。

1 使用上のご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ずよくお読みください。

絵表示について この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その絵表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的傷害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。

図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。

図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。



警告

■安全上お守りいただきたいこと

万一異常が発生したら、電源プラグをすぐに抜く

煙が出ている、変なにおいがする、異常な音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。



電源プラグをコンセントから抜け

内部に異物を入れない

パステフダクト孔口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

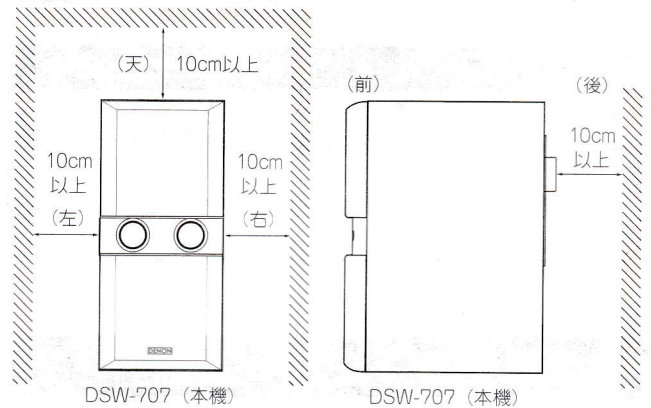


2 取り扱い上のご注意

設置の際のご注意

- 本機をレコードプレーヤーと同じ台や棚の上に設置すると、ハウリングを起こすことがありますのでご注意ください。
- 本機のスーパーウーハー部のドライバーは、テレビとの近接使用が可能な防磁型スピーカーユニットですが、テレビの種類によっては色むらを生じる場合があります。その場合は、一度テレビの電源を切り、少し離して、15分～30分後に再びスイッチを入れてください。テレビの自己消磁回路により、画面への影響が改善されます。その後色むらが残るような場合には、本機を更に離してご使用ください。
- 近くにマグネット（磁石）など磁気を発生するものが置かれている場合には、本機との相互作用により、テレビに色むらが発生する場合がありますのでご注意ください。
[例] :
(a) ラック、置き台などの扉に装着されたマグネットがあるとき。
(b) マグネットを用いた健康器具などが近くに置かれているとき。
(c) その他、マグネットを使用した玩具などが近くに置かれているとき。
- 転倒による事故を防止するため、しっかりとした水平な床の上に設置してください。
- 付属のすべり止め（4個）を底面の四隅に貼り付けると、すべりにくくなります。

- 本機の上に、レコードプレーヤー、CDプレーヤーなどを置くと針とび、音とびを起こすことがあります。このような場合は、レコードプレーヤー、CDプレーヤーを別の場所に設置してください。
- 放熱のため、壁や他のAV機器などから天面、左右両面、後面とも10cm以上離してください。



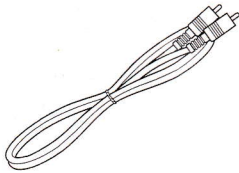
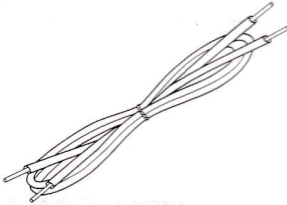

- 長時間直射日光を受ける場所やストーブなどの暖房器具の近くに置くことは避けてください。
- 湿気の多い場所やホコリの多い場所に置きますと、故障の原因となる場合があります。

お手入れについて

- キャビネットは殺虫剤が付着したり、ベンジン・シンナーなどの溶剤で拭いたりしますと、変質したり変色することがありますのでご使用は避けてください。また、汚れを拭き取る時は柔らかい布を使用し、化学ぞうきんをご使用の際はその注意書きに従ってください。

3 付属品について

★ 梱包箱の中には本体とは別に次の品物が入っていますので、ご確認ください。

接続コード (A)	1本	接続コード (B)	2本	すべり止め	4個
					
取扱説明書	1冊	保証書	1部	サービス網一覧表	1部

ステレオ音のエチケット



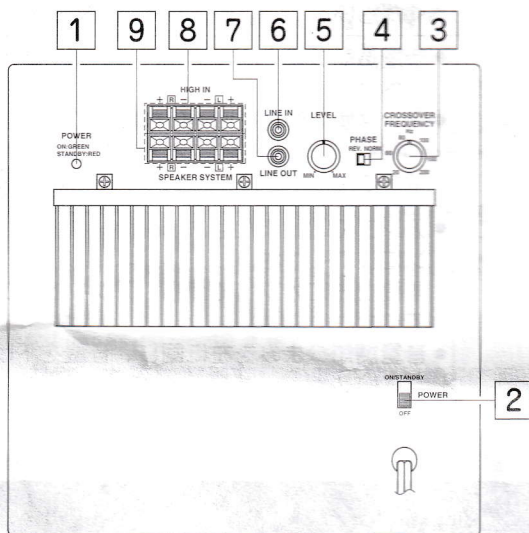
- ◎ 楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。
- ◎ 隣り近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。
- ◎ ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で小さくも大きくもなります。

- ◎ 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。
- ◎ 窓を開めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。
- ◎ お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

4 保証とサービスについて

- 1 この商品には保証書が添付されております。保証書は所定事項を販売店で記入し、お渡し致しますので、記載内容をご確認のうえ大切に保存してください。
- 2 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。保証書の記載内容により、お買い上げ販売店が最寄りの当社「お客様相談センター」または営業所（コロムビアサービス網一覧表参照）が修理を申し受けます。（但し、保証期間内でも保証書が添付されない場合は、有料修理となります。）その他詳細につきましては、保証書をご覧ください。
- 3 保証期間後の修理については、お買い上げ販売店が最寄りの当社「お客様相談センター」または営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。
- 4 本機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。
- 5 保証および修理についてご不明の場合は、お買い上げ販売店が最寄りの当社「お客様相談センター」または営業所にご相談ください。

5 各部の名前とはたらき



1 動作表示

- 2色のLEDで、本機の動作状態を次のように示します。
 - ・電源“ON”……………緑点灯
 - ・オートパワーオフ（スタンバイ状態）…赤点灯
 - ・電源“OFF”……………消灯

オートパワーオフ機能

- 入力信号が無い状態で5～11分間が経過すると、アンプ部が自動的にスタンバイ状態になって節電します。信号が入るとすぐに電源がオンになります。

2 電源スイッチ（POWER）

- “ON/STANDBY”（上側）にすると、電源が入ります。
- セットが動作するまで数秒かかりますが、これは電源スイッチ ON/OFF時の雑音を防止するミュート回路が内蔵されているためです。
- “OFF”（下側）にすると、電源が切れます。

3 クロスオーバー調節つまみ（CROSSOVER FREQUENCY）

- ウーハーで再生する周波数の上限を設定します。
- 設定の目安
 - 50Hz……左右スピーカーの口径が20cm以上の場合
 - 100Hz…左右スピーカーの口径が10～25cmの場合
 - 200Hz…左右スピーカーの口径が12cm以下の場合
- 但し、DENONのDolby Digital AC-3対応AVアンプ（AVP-A1、AVC-A1/3800、AVR-3200など）をご使用の場合は、左右スピーカーの口径に関わらず200Hzに設定することをお勧めします。

※Dolby、AC-3は、ドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションの商標です。

4 位相切り替えスイッチ（PHASE）

- 入力信号に対する出力信号の位相を切り替えます。
- 通常は“NORM.”で使用しますが、サブウーハーと左右スピーカーの音のつながりが不自然に聞こえる場合は“REV.”に切り替えてみて、自然に聞こえる方に設定してください。

5 音量調節つまみ（LEVEL）

- スーパーウーハーの音量を調節するときに使用します。
- つまみが中央から右（R）に回すとスーパーウーハーの音が大きくなり、左（L）に回すと音が小さくなります。お好みの位置に合わせてご使用ください。

6 ライン入力端子（LINE IN）

- AVアンプのスーパーウーハー用プリアウト端子（SUBWOOFER、MONO OUTなど）を付属の接続コード（A）で接続します。

ご注意

- この端子とハイレベル入力端子の両方に同時に接続しないでください。

7 ライン出力端子（LINE OUT）

- ライン入力端子に入力された信号を並列にそのまま取り出すことができます。
- 本機を2台使用する場合に、この端子とライン入力端子を接続します。

8 ハイレベル入力端子（HIGH IN）

- 通常のプリメインアンプまたはパワーアンプなどのスピーカー出力端子を接続します。

ご注意

- この端子とライン入力端子の両方に同時に接続しないでください。

9 外部スピーカー接続端子（SPEAKER SYSTEM）

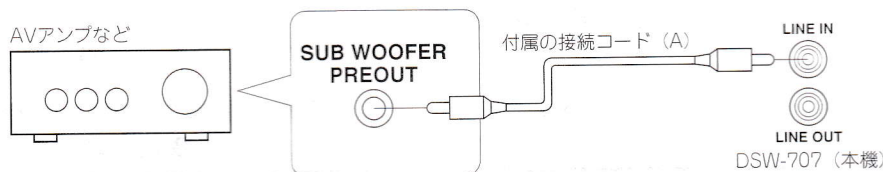
- ハイレベル入力端子に入力された信号を並列にそのまま取り出すことができます。
- アンプのスピーカー出力端子を本機のハイレベル入力端子に接続して本機の入力信号とし、左右のスピーカーを本機を経由して接続するときは、ここに接続します。

6 接続のしかた

★ 機器の接続をおこなう場合または変更をおこなう場合には、必ず電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

(1) ライン入力端子 (LINE IN) の接続

★ アンプにスーパーウーハー用のプリアウト端子 (SUB WOOFER PREOUT、MONO OUTなど) がある場合の接続です。(この端子が無い場合は、「(2) ハイレベル入力端子 (HIGH IN) の接続」を参照してください。) 付属の接続コード (A) で、本機のLINE IN端子と接続します。



ご注意

- ステレオアンプのサラウンド・センターチャンネル用のプリアウト端子と接続すると、センターチャンネルのみの低音となり、十分な低音が得られません。

(2) ハイレベル入力端子 (HIGH IN) の接続

★ アンプのスピーカー端子を使用する接続です。

ご注意

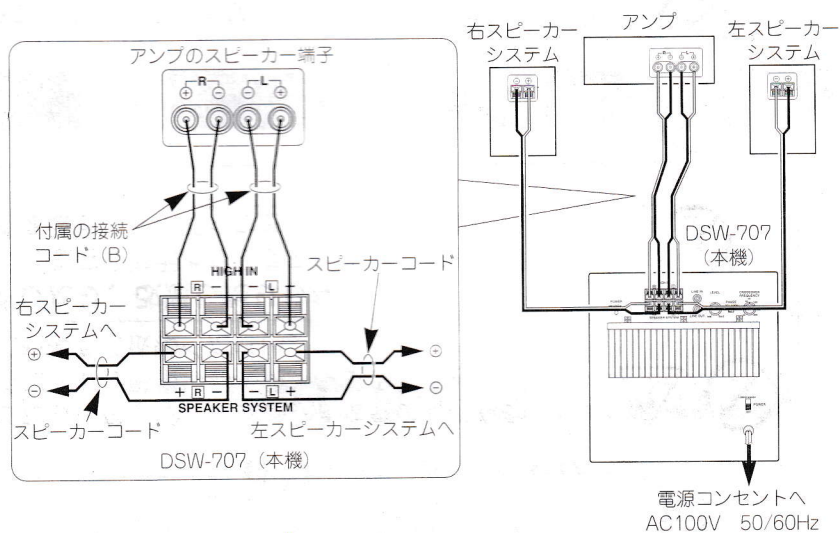
- 本機の電源を切る前にアンプの電源を切ると、ショック音が発生することがあります。そのときは本機の音量を下げるか、本機の電源を切ってください。またはアンプに電源スイッチ連動コンセントがある場合は本機の電源コードを接続してください。
- ハイレベル入力端子での接続では、スーパーウーハーの音量を非常に大きく設定した場合、アンプの電源を切ったり、スピーカースイッチをオフにするとハウリングを起こすことがあります。これを防止するには、本機の電源コードをアンプの電源スイッチ連動コンセントに接続してください。連動コンセントが無い場合は、スーパーウーハーの音量を下げるか、アンプの電源を切る前に、本機の電源を切ってください。また、本機を大音量で使用しているときアンプのスピーカースイッチをオフにしないでください。
- ライン入力端子とハイレベル入力端子は同時に接続しないでください。

★ ハイレベル入力端子の接続には2通りの方法があります。

【方法1】

アンプのスピーカー端子と左右のスピーカーの接続の間に本機を入れる方法です。

1. 本機の左右のハイレベル入力端子 (HIGH IN) とアンプのスピーカー端子を付属の接続コード (B) で接続します。
 - L (+)、L (-)、R (+)、R (-) の表示に合わせて接続してください。
2. 本機の外部スピーカー接続端子 (SPEAKER SYSTEM) と左右のスピーカーシステムの端子をスピーカーコードで接続します。
 - L (+)、L (-)、R (+)、R (-) の表示に合わせて接続してください。

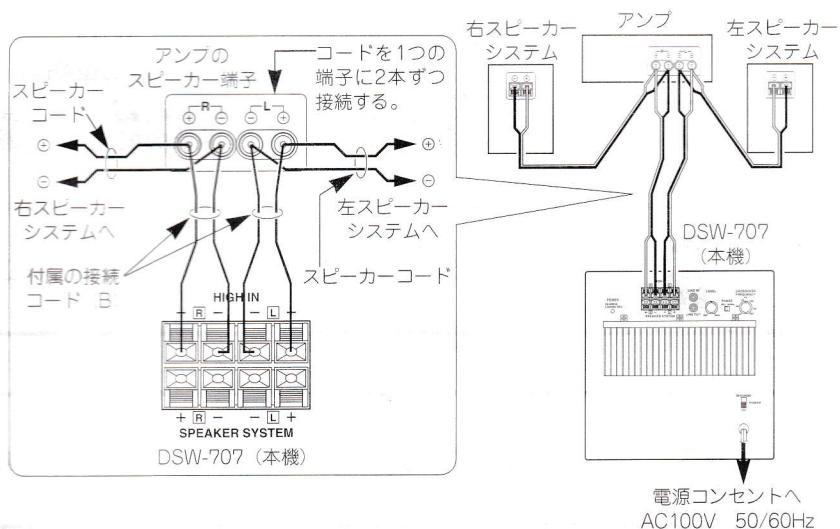


接続のしかた (つづき)

【方法2】

アンプのスピーカー端子に左右のスピーカーの接続と同時に本機を接続する方法です。

1. 左右のスピーカーシステムからのスピーカーコードと本機に付属の接続コード (B) の一端の芯線をからげ、アンプのスピーカー端子に接続します。
2. 付属の接続コード (B) の他端を本機のハイレベル入力端子 (HIGH IN) と接続します。
 - L (+)、L (-)、R (+)、R (-) の表示に合わせて接続してください。
 - 本機の外部スピーカー接続端子 (SPEAKER SYSTEM) は使用しません。



ご注意

- アンプに2組のスピーカー端子 (A、B) がある場合、本機を空き端子に接続して、スピーカースイッチで“A+B”を選択する方法は、使用するアンプによっては左右のスピーカーから音が出なくなることがあります。(スピーカースイッチで“A+B”を選択したとき、AとBが直列接続になる構造のアンプの場合。)

接続上のご注意

- すべての接続が終わるまで、電源コードはコンセントに差し込まないようにしてください。
- 左右のチャンネルを確かめてから、正しくLとL、RとRを接続してください。
- 電源プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は雑音発生の原因となります。
- ピンプラグコードと電源コードを一緒に束ねたり、電源トランスの近くにピンプラグコードを設置しますと、ハムや雑音の原因となることがあります。
- スピーカーとアンプの極性を確かめてから、正しく⊕と⊕、⊖と⊖を接続してください。

7 使いかた

1. 電源スイッチをオンにします。

- 本機の電源コードをアンプのスイッチ連動コンセントに接続したときは、オンのままにしておくくとアンプと連動してオン/オフできます。
- アンプと連動できない場合は、アンプの電源を入れてから本機をオンしてください。電源を切るときは、本機をオフしてからアンプをオフしてください。

2. アンプを操作して音を出し、左右のスピーカーの音量を調整します。

3. 音量調節つまみで低音の強さを調整します。

- 必要に応じてクロスオーバー調節つまみと位相切り替えスイッチを操作し、音量調節つまみで調整してください。

8 サランネットの外しかた

★ 前面のサランネットは、取り外すことができます。

- 取り外すときは、サランネットの上下を持って、手前に引いてください。
- 取り付けるときは、サランネットの四隅の突起とキャビネットの四隅の穴部とを合わせて押し込んでください。

9 故障かな?と思ったら

故障? と思っても、もう一度確かめてみましょう

- 各接続は正しいですか
- 取扱説明書に従って正しく操作していますか
- スピーカーやプレーヤーは正しく動作していますか

セットが正常に動作しないときは、次の表に従ってチェックしてみてください。なお、この表の各項にも該当しない場合は、本機の故障とも考えられますので、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き取り、お買い上げ店または最寄りの当社営業所にご連絡ください。

現象	原因	処置
電源スイッチを入れても、LEDが点灯せず、音も出ない。	●電源プラグの差し込みが不完全である。	●電源プラグの差し込みを点検してください。
LEDは点灯するが、音が出ない。	●コードの接続が不完全である。 ●音量調節つまみが絞ってある。	●しっかり接続してください。 ●適当な位置まで回してください。
音量調節つまみを回しても、音が大きくなる。	●スピーカーコードの極性（本機とアンプ間の接続の+、-）が逆である。	●極性（+、-）を確認して、正しく接続してください。
音が歪む。	●音量が大きすぎる。 ●本機を接続したアンプ側で音が歪んでいる。	●音量調節つまみを左に回し、音量を下げてください。 ●アンプ側で低音を増強しないでください。（アンプの低音調節つまみまたはポリウムを下げてください。）
発振する。（大きな音が連続的に出る。）	●スピーカーコードで本機を接続した場合に、アンプの電源を切ったり、スピーカースイッチをオフにしたりした。 ●本機の音量が大きすぎる。	●アンプの電源またはスピーカースイッチをオンにしてください。 本機を先にオフしてから、アンプをオンにしてください。 ●音量調節つまみを左に回し、音量を下げてください。

10 主な仕様

- アンプ部
 - 最大出力 110W
 - 入力インピーダンス LINE IN : 47k Ω
HIGH IN : 4.7k Ω
 - クロスオーバー周波数 50~200Hz (連続可変)
 - 出力端子 スピーカー L/R、LINE OUT
 - 電源 AC 100V、50/60Hz
 - 消費電力 78W
- スーパーウーハー部
 - 形式 アンプ内蔵バスレフ型
 - 再生周波数帯域 20Hz~200Hz
 - ドライバーユニット 20cmコーン形×2、防磁設計

- 寸法 (幅) 256mm
(高さ) 560mm
(奥行き) 410mm
- 質量 17.6kg

※仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。
 ※「防磁設計」とは、(社)日本電子機械工業会(EIAJ)の技術基準に適合したスピーカーシステムです。
 ※本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。

日本コロムビア株式会社

本社 〒107-11 東京都港区赤坂4-14-14
 TEL : (03) 3584-8111 (大代表)

使用上のご注意 (つづき)

警告 つづき

■安全上お守りいただきたいこと

水が入ったり、濡らしたりしないように

雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。火災・感電の原因となります。



電源コードは大切に

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら、すぐに販売店に交換をご依頼ください。



キャビネット（スピーカー・裏ぶた）を外したり、改造したりしない

内部には電圧の高い部分がありますので、触ると感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。



ご使用は正しい電源電圧で

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。



雷が鳴り出したら

アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。



落としたり、キャビネットを破損した場合は

まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



長時間音が歪んだ状態で使用しない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。



■取り扱いについて

風呂場では使用しない

火災・感電の原因となります。



水場での使用禁止

花瓶やコップ、小さな金属物をこの機器の上に置かない

万一内部に水や異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



注意

■安全上お守りいただきたいこと

電源コードを熱器具に近付けない

コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



電源プラグを抜くときは

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らずに必ずプラグを持って抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。また、濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



機器の接続は説明書をよく読んでから接続する

テレビ・オーディオ機器・ビデオ機器・スピーカーなどの機器を接続する場合は、電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。



電源を入れる前には音量を最小にする

突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。



使用上のご注意 (つづき)

注意 つづき

■置き場所について

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。



次のような場所には置かない

火災・感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるようなところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど高温になる場所



壁や他の機器から少し離して設置する

壁から少し離して据え付けてください。また放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面や背面から少し隙間をあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



■取り扱いについて

通風をさまたげない

内部の温度上昇を防ぐため、次のような使いかたはしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- あお向けや横倒し、逆さまにする
- 押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い場所に押し込む
- テーブルクロスをかけた、じゅうたん・布団の上に置いて使用する



この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない

特に幼いお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。



重いものをのせない

機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。



移動させる場合は

まず電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線・機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してからおこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。この機器の上にテレビなどを載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。



■使わないときは

長時間の外出・旅行の場合は

安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。



■お手入れについて

お手入れの際は

安全のため電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。感電の原因となることがあります。



5年に一度は内部の掃除を

販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前におこなうと、より効果的です。なお、内部の掃除費用については販売店などにご相談ください。

